

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	ご家族へのアンケート調査で「ご本人は職員に支援されながら行きたいところへ出かけていますか？」に対して2名の方が「わからない。」と答えていらっしゃる。職員が設定したスーパーや外食や散歩、ドライブ等にはいけているが、各利用者の馴染の場所へは職員の支援では行けていない現状がある。本人の行きたい場所、馴染の場所を再アセスメントして行ける支援を行う事で、もっと利用者は笑顔で充実した家での生活により近い生活が出来るのではないかと。またご家族に支援したことや結果を報告することで、「分からない。」と答えるご家族はなくなるのではないかと。	①思い出の場所、スーパー、等入居者が行きたい場所に行ける支援が出来る。 ②支援することで、ご家族に「行きたいところへ連れて行ってもらっている。」とっていただけ。 ③入居者は笑顔で生活が出来る。	1、担当介護員はその方の行きたいところ、馴染の場所を把握するために情報収集を行う。 2、情報収集したものを主任は取りまとめて、ユニットカンファレンス実施し、支援のプランを作成する。 3、財布を持ち「何か買い物に行きたい。」と言われる方はその都度支援を行う。 4、意思表示されない方は、ご家族の意見や、担当介護員の考え等で日常の買い物外出や地域のドライブにお誘いする。	6ヶ月
2	54	入居の時には、馴染の物や家族写真などお持ち下さい。とお願いしているが、全くその方らしいお部屋に出来ていない方がいらっしゃる。馴染の物や写真などがあると、その方とのコミュニケーションにもつながり、その方の言葉や笑顔を引き出すことが出来るのではないかと。	居室においてその方の馴染の物や、家族写真等を通して、その方と意思で話が出来ると。	1、担当介護員は、利用者、ご家族と話し合っ、馴染の物や、家族写真など持って来ていただく。 2、居室での思い出話等の内容を記録に残し、実施されているか確認する。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。